2026年10月30日

令和8年度障害者サービス担当職員向け講座



国立国会図書館の障害者図書館協力サービス

国立国会図書館　関西館
図書館協力課　　障害者図書館協力係

藤田 順（ふじた なお）

国立国会図書館
National Diet Library, Japan

近年の読書バリアフリー施策の動き

- 「マラケシュ条約」に対応→著作権法改正（2019年1月）
  - 第37条の受益者の範囲が拡大：「視覚障害者」だけでなく肢体不自由等さまざまな障害によって書籍を読むことが困難な方が広く対象に
- 読書バリアフリー法施行（2019年6月）
  - 同法に基づく「読書バリアフリー基本計画」
  - 第1期：2019年度～2024年度／第2期：2025年度～2029年度

⇒アクセシブルな電子書籍等の普及、量的拡充及び質的向上

マラケシュ条約（文化庁）：https://www.bunka.go.jp/seisaku/chosakuken/hokaisei/marrakesh/
読書バリアフリー（文部科学省）：https://kyouseisyakainomanabi.mext.go.jp/reading-barrier-free/

本日の内容

障害者用資料のデータや所蔵情報を…

集める

製作する



講義の後半（4章）

講義の前半（1～3章）

１．みなサーチで資料を探す

全国の障害者用資料をまとめて検索する

みなサーチの資料検索　概要

- 国立国会図書館やさまざまな機関が製作・収集・所蔵する障害者用資料をまとめて検索
- 検索だけであれば誰でもいますぐ利用可能
- 登録すれば、ダウンロードしてすぐ使えるデータも（→2章）



障害者用資料の大きな分類

障害者用資料（バリアフリー資料）

視覚障害者等用資料

「視覚障害者等用データ」＋
録音図書（カセットテープ）、点字冊子、大活字本、さわる絵本、LLブック（やさしい言葉で書かれた図書）など**形のある資料**

視覚障害者等用データ＝2章

DAISY（音声、テキスト、マルチメディア）、点字データ、テキストデータ（プレーンテキスト、EPUBなど）などの**データ**

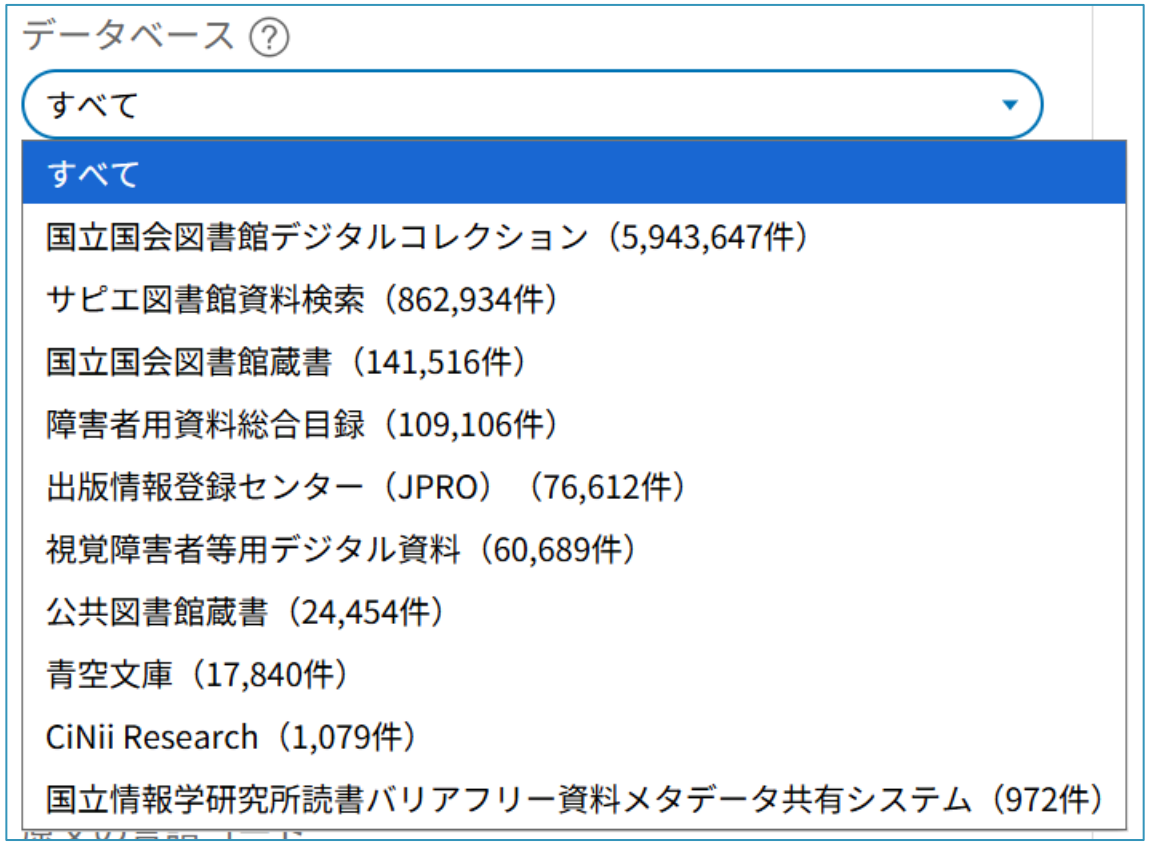
聴覚障害者等用資料

バリアフリー字幕付き映像資料など

＊現状、みなサーチでは国立国会図書館蔵書のみ検索可（今後拡大が課題）

統合検索できるデータベース

- 10種類のデータベースから約720万件のデータを一挙に検索

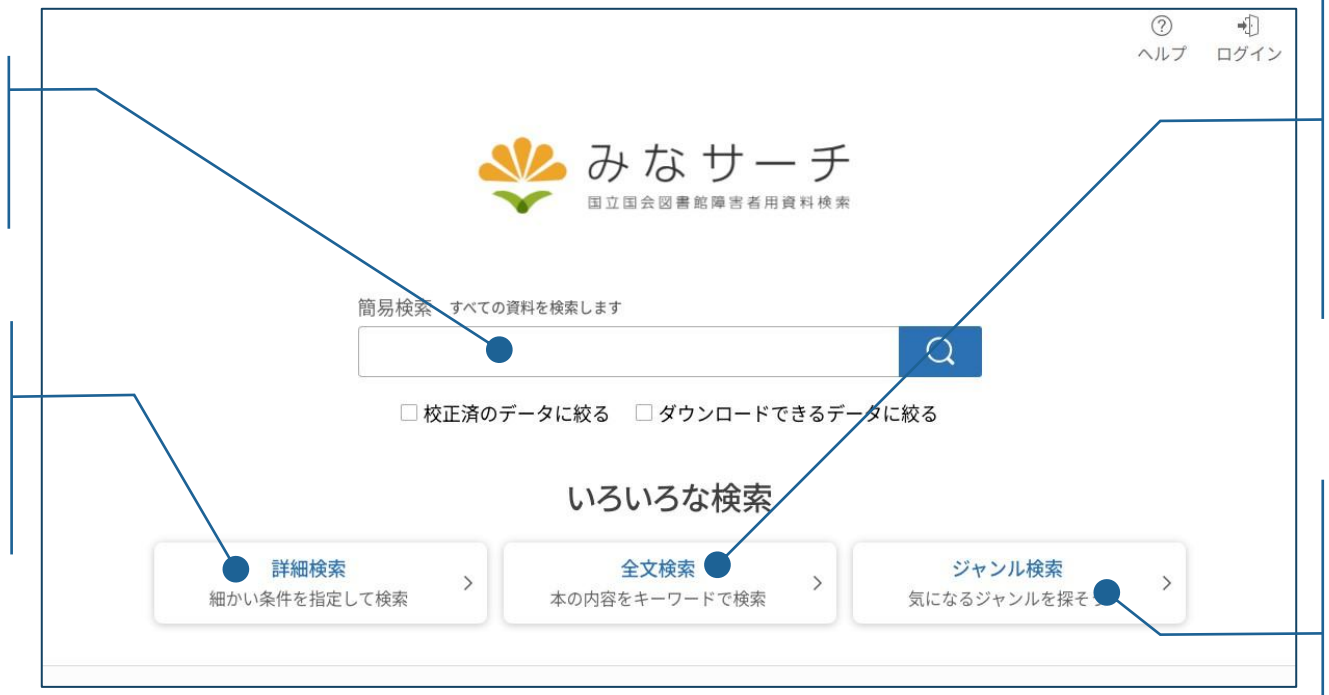


データ件数は、2026年9月末時点の数値。
各データベースの詳細：https://mina.ndl.go.jp/help/1-2

トップ画面：4つの検索メニュー

◎簡易検索
まずはここから

◎詳細検索
条件を細かく指定して検索



◎全文検索
国立国会図書館のデジタル化資料の本の中身（全文テキストデータ）も検索できる

◎ジャンル検索
「ダウンロードの多い資料」、「児童書」など様々な切り口で簡単に検索

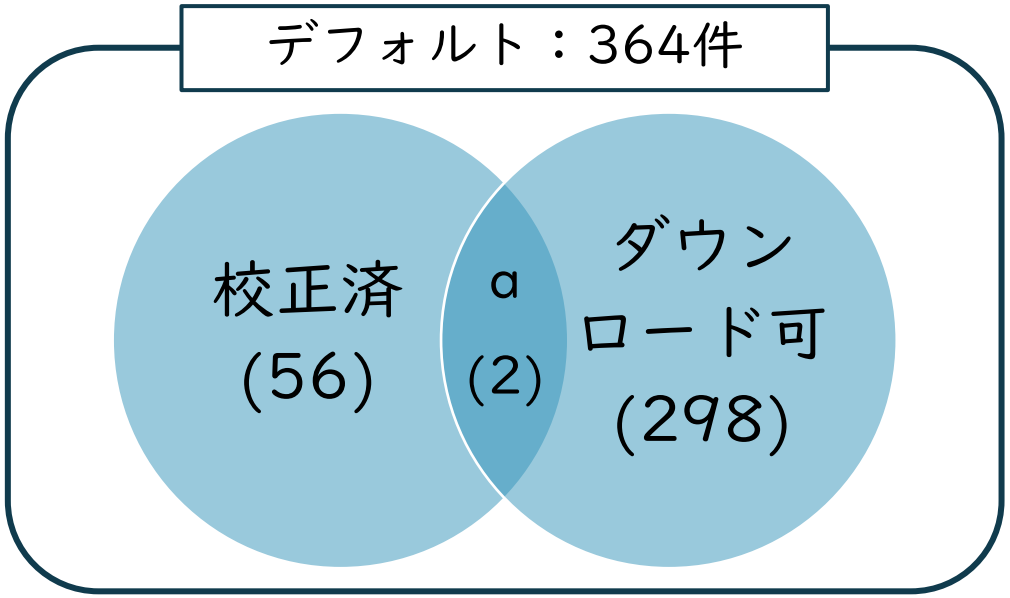
https://mina.ndl.go.jp/

①簡易検索

例

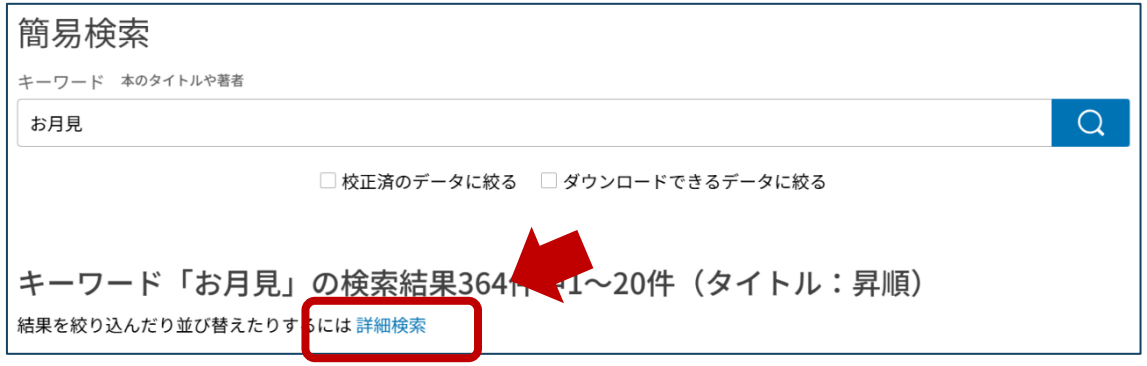
「お月見」についての資料を検索してみましょう





α：校正済かつダウンロード可

②詳細検索―簡易検索からの切り替え



詳細検索への切り替えボタン



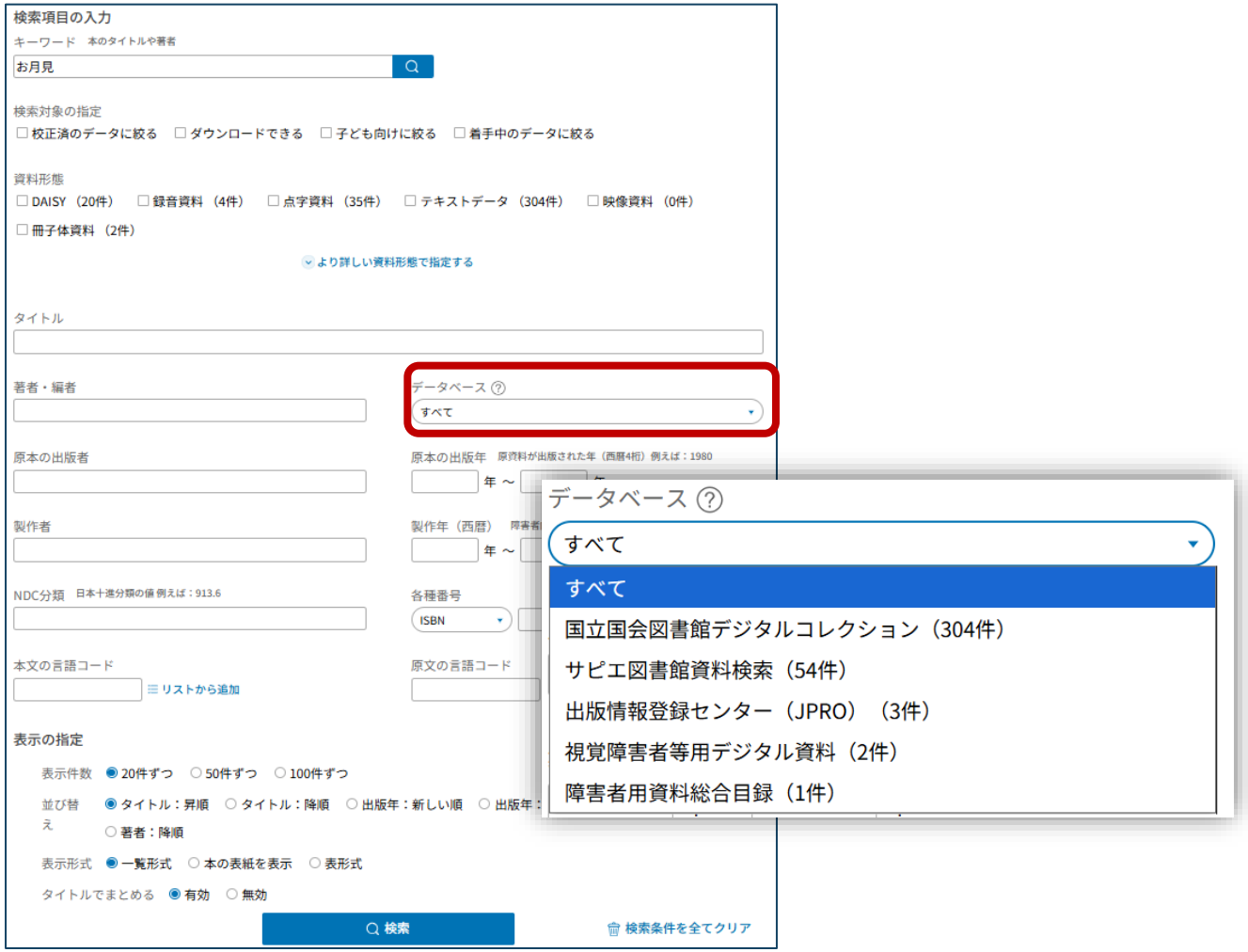


検索対象を指定　→
資料形態の内訳（ ）に反映

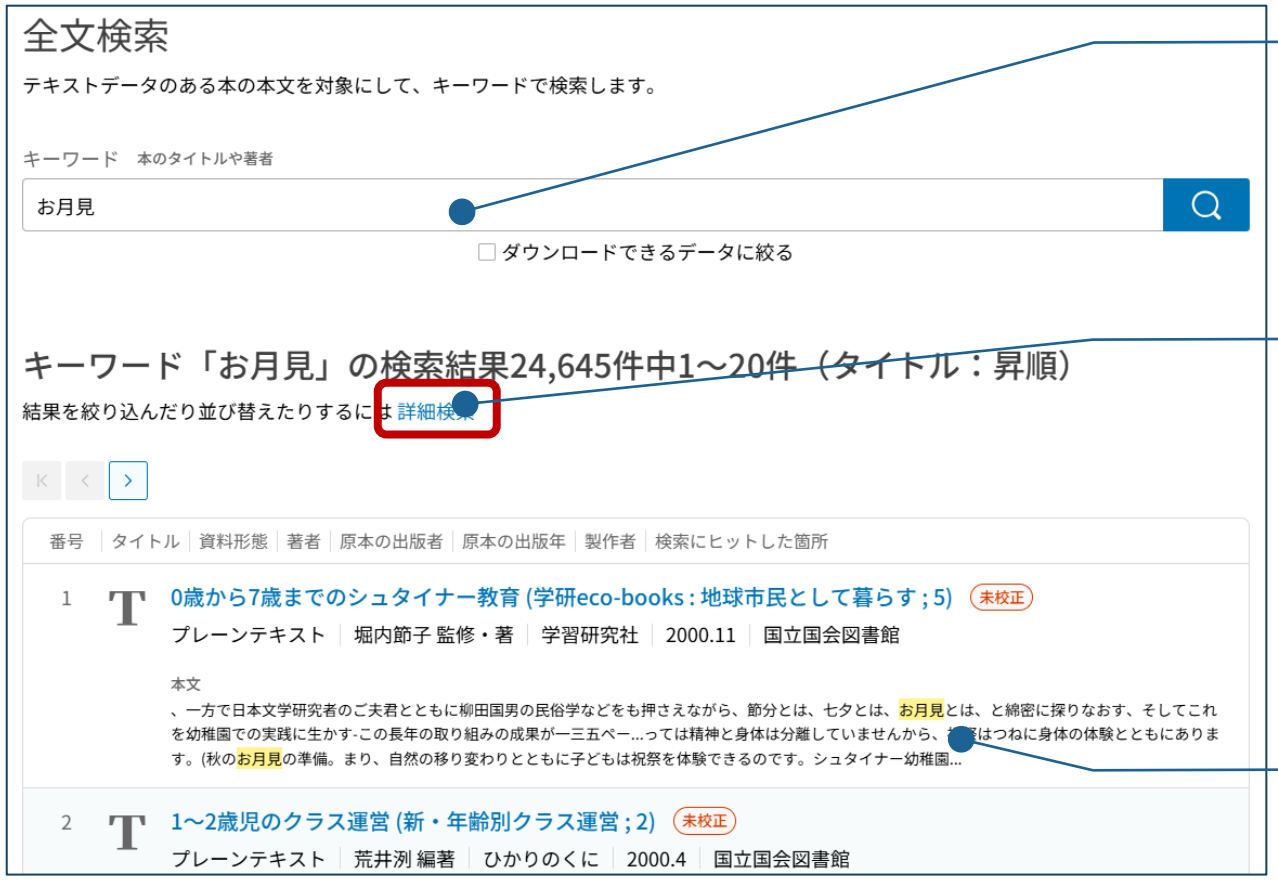
②詳細検索―より詳しい資料形態での検索



②詳細検索―データベースを指定して検索



③全文検索



◎簡易検索
全文テキストデータの本文も含めて検索。24,645件ヒット。

◎詳細検索
検索条件を細かく指定して検索

ヒットした箇所はハイライト表示

④ジャンルから探す

- 「ダウンロードの多い資料」「児童書」など、さまざまな切り口から資料を一覧
  - 「とりあえずざっと資料を見てみたい」「複雑な検索や文字入力は得意ではない」方に





２．みなサーチからデータを入手する

視覚障害者等用データ送信サービスのご紹介

視覚障害者等用データ送信サービス　概要

- みなサーチを通じて、下記の資料を**無料でダウンロード**できる
  - 視覚障害者等用デジタル資料　約6万点
  - 国立国会図書館デジタル化資料からOCRにより作成した全文テキストデータ　約354万点
- 利用するには、視覚障害者等用データ「送信承認館」の参加申請が必要（→3章）

参考：個人の視覚障害者等の方も登録可能→スライド36

障害者用資料の大きな分類

障害者用資料（バリアフリー資料）

視覚障害者等用資料

「視覚障害者等用データ」＋
録音図書（カセットテープ）、点字冊子、大活字本、さわる絵本、LLブック（やさしい言葉で書かれた図書）など**形のある資料**

視覚障害者等用データ＝2章

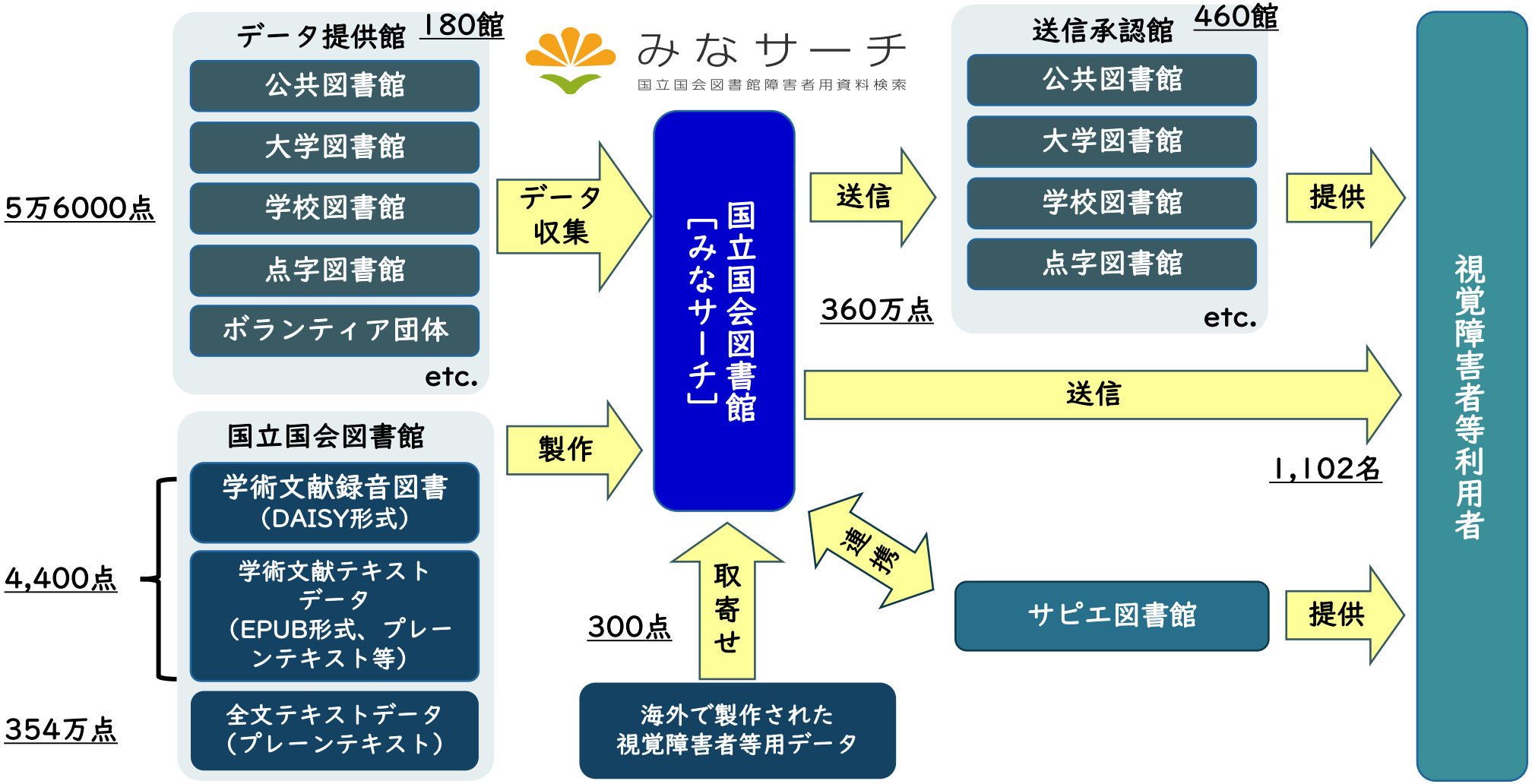
DAISY（音声、テキスト、マルチメディア）、点字データ、テキストデータ（プレーンテキスト、EPUBなど）などの**データ**

聴覚障害者等用資料

バリアフリー字幕付き映像資料など

＊現状、みなサーチでは国立国会図書館蔵書のみ検索可（今後拡大が課題）

視覚障害者等用データ送信サービスの全体像



「視覚障害者等用データ」とは

- 紙の本を、パソコンや支援機器で利用できるデータに変換し、耳で聞いたり、手で触ったりして読書できる形にしたもの
- 国立国会図書館や他の図書館等が、著作権法第37条の権利制限に基づいて製作



利用できる資料―①国立国会図書館製作・収集

- 国立国会図書館が製作または収集したデータ 60,644点

音声DAISY	49,309点
点字データ	3,750点
透明テキスト付PDF	3,160点
マルチメディアDAISY	1,417点
プレーンテキスト	1,372点
DOCX（Word）	661点
テキストDAISY	528点
EPUB	446点
音声ファイル	1点

＊数値は2026年9月末現在

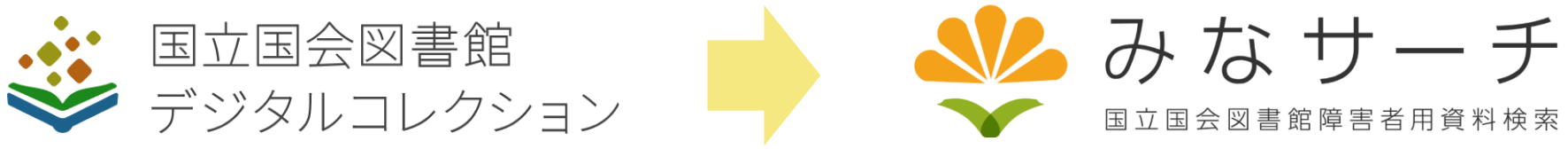
利用できる資料―②外国から取り寄せたデータ

- マラケシュ条約に基づき、外国からDAISYデータや点字データ等を取り寄せできる
- 依頼に応じて、国立国会図書館が代行してABC Global Book Serviceで資料を検索
  - ABC Global Book Service＝世界各国の視覚障害者等用データ**約128万点**を収録したデータベース
- 取り寄せたデータは、視覚障害者等用データ送信サービスに登録し、みなサーチから提供

外国から取り寄せたデーター覧（みなサーチ）
https://mina.ndl.go.jp/genre/abc?cs=mina-genre-abc

利用できる資料―③全文テキストデータ

- 国立国会図書館デジタルコレクションの画像データをもとに、OCRによって作成した本の「**中身**」のテキストデータ
  - デジタルコレクションは文字認識されていない「画像」（＝アクセシブルでない）
  - 全文テキストデータでは、音声による読み上げや点字表示、本文の検索が可能に！



利用できる資料―③全文テキストデータ

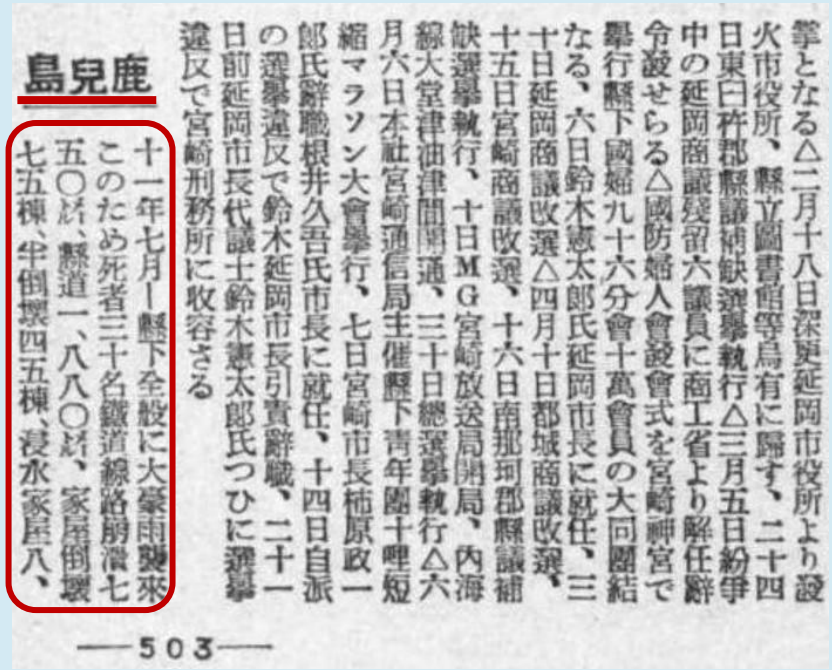
- 図書、雑誌、博士論文など約354万点のテキストデータ
- 全文テキストデータを提供する資料は古い年代のものが中心
  - 主に1995年までの図書、2000年までの雑誌（今後も追加予定）



利用できる資料―③全文テキストデータ

- 全文テキストデータ＝人手による確認・校正を行っていない「未校正」のデータ
- 自館で校正して利用者に提供することも可能

例



島兒鹿

十一年七月一縣下全般に大豪雨襲來このため死者三十名鐵道線路崩潰七五〇ケ所、縣道一、八八〇ケ所、家屋倒壞七五棟、半倒壞四五棟、浸水家屋八、

掌となる△二月十八日深更延岡市役所より發火市役所、縣立圖書館等烏有に歸す、二十四日東臼杵郡縣議補缺選擧執行△三月五日紛爭中の延岡商議殘留六議員に商工省より解任辭令發せらる△國防婦人會發會式を宮崎神宮で擧行縣下國婦九十六分會十萬會員の大同團結なる、六日鈴木憲太郎氏延岡市長に就任、三十日延岡商議改選△四月十日都城商議改選、十五日宮崎商議改選、十六日南那珂郡縣議補缺選擧執行、十日MG宮崎放送局開局、內海線大堂津油津間開通、三十日總選擧執行△六月六日本社宮崎通信局主催縣下青年團十哩短縮マラソン大會擧行、七日宮崎市長柿原政一郎氏辭職根井久吾氏市長に就任、十四日自派の選擧違反で鈴木延岡市長引責辭職、二十一日前延岡市長代議士鈴木憲太郎氏つひに選擧違反で宮崎刑務所に收容さる

—503—

画像データ囲い部分のテキスト

縣下全般に大豪雨變來島兒鹿五〇〓、縣道一、八八〇〓、このため死者三十名鐵道線路崩潰七七五棟（……）

- レイアウト崩れ（「鹿兒島」が本文に割り込み、順番が入れ替わり）
- 「襲」を「變」と認識
- 「〆ル」を認識できず「〓」に

［出典］『朝日年鑑 昭和13年』朝日新聞社、1937。
https://dl.ndl.go.jp/pid/1072267/1/258（インターネット公開）

視覚障害者等用データを利用できる方

- データを利用できるのは「**視覚障害者等**」（著作権法第37条第3項）＝「視覚障害その他の障害により視覚による表現の認識が困難な者」に限定
  - 対象に該当するかどうか各館で確認する必要あり
  - 視覚障害者のみに限られない→肢体不自由やディスレクシアの方も
- 送信承認館が自館の利用者に提供するか、視覚障害者等が個人登録して直接利用する

視覚障害者等用データの利用対象者の確認方法

- 障害者手帳の有無にかかわらず、「通常の活字による読書が困難な方」にサービスを提供することができる
- ある図書館の例：
  - 点字図書等の郵送サービスは身体障害者手帳保持者に限定
  - 視覚障害者等用データ送信サービスや来館サービスは、手帳保持者に限らず、「通常の読書が困難な方」を対象としている。判断にあたっては、下記ガイドラインのチェックリスト等を活用

参考：図書館の障害者サービスにおける著作権法第37条第3項に基づく著作物の複製等に関するガイドライン（日本図書館協会等）
https://www.jla.or.jp/committees/shousa/fukusei_guideline/

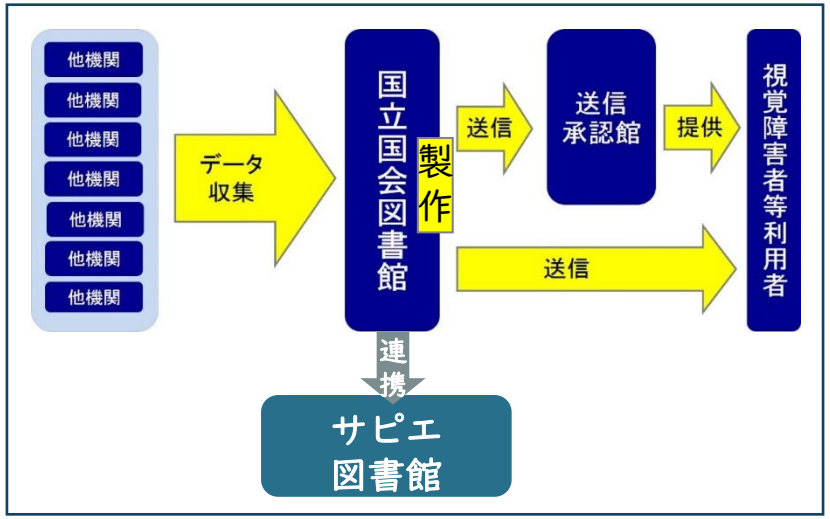
送信承認館での視覚障害者等用データの利用方法

- 著作権法第37条第3項「…必要と認められる限度において、当該視覚著作物に係る文字を音声にすることその他当該視覚障害者等が利用するために必要な方式により、複製し、又は公衆送信を行うことができる」

• 複製 • 貸出（第38条第4項） • 譲渡（第47条の7）	• ネット送信（自動公衆送信） • メール送信（公衆送信） • 館内閲覧

参考：サピエ図書館との関係は？

- 視覚障害者等用データ送信サービスはサピエ図書館と連携。サピエ図書館からもDAISYと点字データが利用可能
- ただし、以下のデータはサピエ図書館から**利用できない**
  - 全文テキストデータ
  - EPUB
  - プレーンテキスト
  - 透明テキスト付PDF
  - DOCX（Word）
  - 海外から取り寄せたデータ



サピエ図書館：https://www.sapie.or.jp/

参考：DAISYを利用するためのソフトウェア（一例）

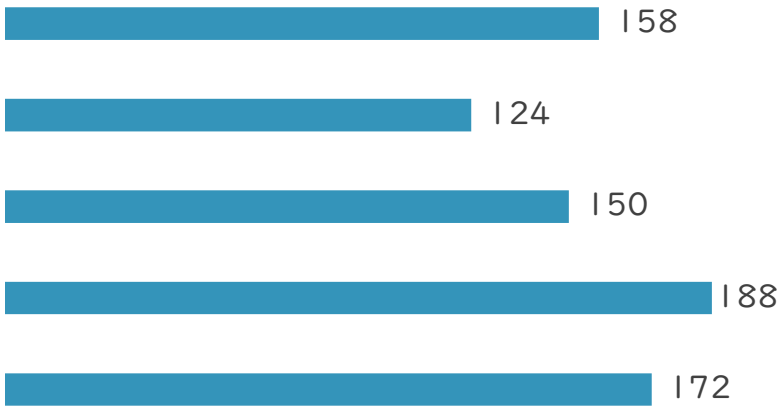
- 無償
  - Chatty Books（Windows）
  - Dolphin EasyReader（iOS、Android、Windows）
  - Thorium Reader（Windows、Mac）
  - AMIS（Windows）
  - UDブラウザ（iOS）
- 有償
  - MyBook Neo
  - ボイス オブ デイジー５
  - ネットプレクストーク

３．送信承認館になるには

視覚障害者等用データ送信サービスを使うために

事前アンケートから

- 障害者サービスの経験の有無
  - 「経験なし」「1年未満」の方　＝　約6割
- 課題に感じていること
  - 施設や設備の不備、不足　158
  - 障害者サービス用機器の不足　124
  - 障害者サービス用資料の不足　150
  - 人員の不足　188
  - 広報の不足　172



まずは始めてみましょう！

障害者サービスを始めたいけど、何から始めたらいいのやら

→ まずは**みなサーチ**を使ってできることから

資料も人も
足りません…

→ **みなサーチ**から無料で使える資料がたくさんあります！

障害者サービスの利用者は少ない。需要があるのか分からない…

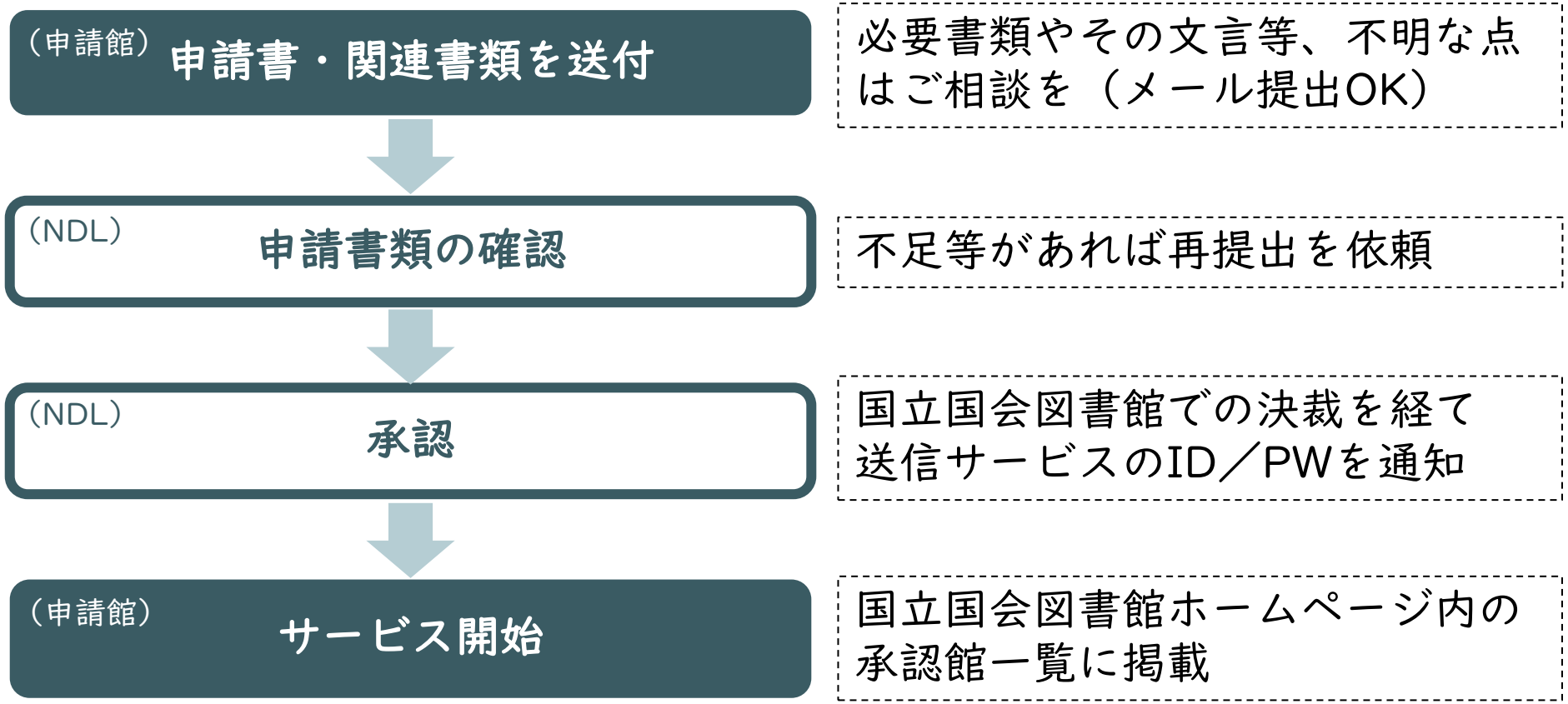
→ サービスを始めて発掘できるニーズがある！

申請手続きに必要な書類

- 承認申請書
- 設置根拠を明記した文書
  - （公共図書館）自治体の図書館条例など。（大学図書館）大学の学則など。（学校図書館）自治体の学校設置に係る条例など。
- 図書館の活動状況がわかる資料
  - 確認事項：①視覚障害者等へのサービスを実施する旨が明記されている。②視覚障害者等であるかどうかを適切に判別し、該当しない方にはデータを利用されないような仕組みが整っている
  - 例：実施要領、サービスマニュアル、規則類、ホームページを印刷したもの、サービス案内文書など

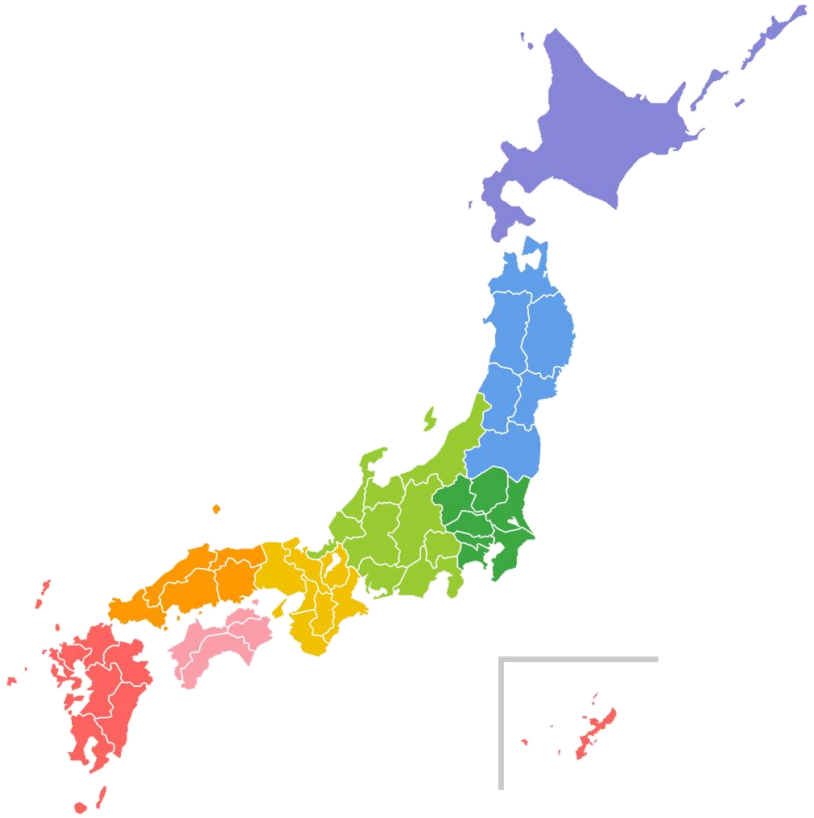
詳細：https://www.ndl.go.jp/library/supportvisual/send/library

承認申請の流れ


（申請館）申請書・関連書類を送付
必要書類やその文言等、不明な点はご相談を（メール提出OK）
（NDL）申請書類の確認
不足等があれば再提出を依頼
（NDL）承認
国立国会図書館での決裁を経て送信サービスのID／PWを通知
（申請館）サービス開始
国立国会図書館ホームページ内の承認館一覧に掲載

現在の参加状況

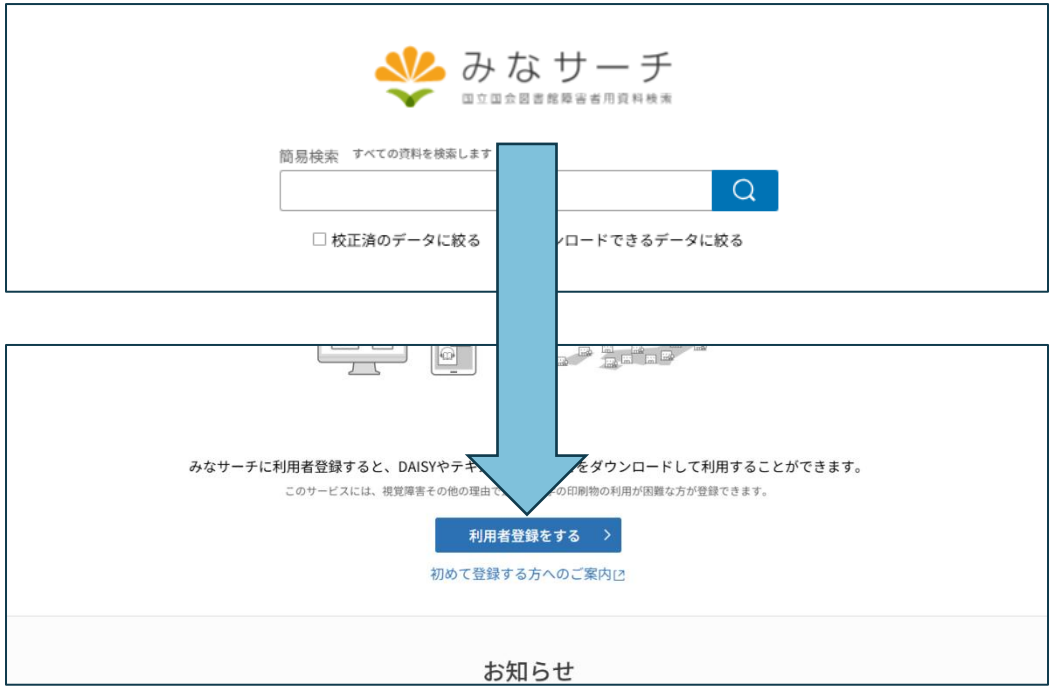
- 送信承認館　460館（2026年9月末現在）



公共図書館	247
都道府県立	42
市町村立	205
大学図書館（海外含む）	94
視覚障害者情報提供施設	38
学校図書館	73
その他	8

参考：みなサーチからのオンライン登録（個人登録）

- 視覚障害者等個人の方はオンラインで利用者登録できます
  - 本人確認書類等はアップロードして送信



詳細：https://www.ndl.go.jp/support/send/pd_touroku

４．データを集める・製作する

自館のデータを広く届ける／新しく資料を作る

①自館で製作した資料をもっと活用したい！

- **「データ提供館」になる**
  - 自館製作のDAISY・点字データ・テキストデータ等を国立国会図書館に提供　→他館や利用者とデータを共有できる
  - データ提供館は現在180館（2026年9月末現在）
- **「障害者用資料総合目録」に参加する**
  - 全国の図書館等が製作した（製作中の）障害者用資料の書誌・所蔵情報
  - 資料の所在を検索して相互利用の活性化に

データ提供：https://www.ndl.go.jp/library/supportvisual/send/acquire
障害者用資料総合目録：https://www.ndl.go.jp/library/supportvisual/search/somoku

②国立国会図書館に製作を依頼する

- 希望する学術書のテキストデータや音声DAISYがない…
  →国立国会図書館に製作依頼可能な場合があります！
- 製作対象
  - 国立国会図書館が所蔵する資料のうち、他の機関では製作することが困難な学術文献
  - 小説などの娯楽書、一般的な入門書等は対象外
- 現在製作中の資料はみなサーチで確認できる
  - 詳細検索「着手中のデータに絞る」

②国立国会図書館への製作依頼―テキストデータ

- 製作依頼できる機関
  - ＝視覚障害者等用データ送信サービスの送信承認館
- 製作対象の資料形式と製作期間

校正レベル	形式	製作期間
未校正	プレーンテキスト	1か月程度
	透明テキスト付PDF	
校正済	プレーンテキスト	8か月程度
	EPUB	

資料製作全般：https://www.ndl.go.jp/library/supportvisual/supportvisual-02
テキストデータ：https://www.ndl.go.jp/library/supportvisual/supportvisual-02/text
　＊当館が製作したテキストデーター覧も確認できます

②国立国会図書館への製作依頼―録音図書

- 製作依頼ができる館と製作データ形式

利用者の依頼先	録音図書の製作形式	利用方法
送信承認館	視覚障害者等用データ（電子データ）	視覚障害者等用データ送信サービス
貸出承認館（スライド44）	DAISY形式のCD	CDの貸出し

- 資料形式：音声DAISY
- １年間に10タイトル程度製作
- 製作完了まで期間を要する



詳細：https://www.ndl.go.jp/library/supportvisual/supportvisual-02/daisy

③自館でテキストデータを製作―NDLOCR-Lite

- 自館でテキストデータを作る＝NDLOCR-Liteを活用
  - 国立国会図書館が開発したOCRソフト（無料）



詳細：https://lab.ndl.go.jp/data_set/ndlocrlite-usage/

５．その他のサービス

①国立国会図書館蔵書を借りる

- **学術文献の録音テープ等**を借りる
  - 「学術文献録音テープ等の貸出承認館」になると、国立国会図書館が製作した学術文献録音図書（DAISY形式のCD・カセットテープ）を借りることができる
  - 利用者が自宅に持ち帰って利用することも可能
- **納本制度等で収集した障害者用資料**を借りる
  - 納本された市販の点字図書、大活字本、拡大写本など
  - 館内で利用者が閲覧できる
  - 点字による複製、著作権法第37条第3項に基づいた複製、対面朗読などにも利用できる。この場合、通常1か月の貸出期間をさらに1か月延長可能

詳細：https://www.ndl.go.jp/library/supportvisual/supportvisual-01

②図書館向けデジタル化資料送信サービスの活用

- 「図書館向けデジタル化資料送信サービス」参加館は、国立国会図書館が送信するデジタル化資料を障害者サービスで活用できる
  - 視覚障害者等のための点訳、音訳、テキストデータ化等（著作権法第37条に基づく複製等）や対面朗読に



③障害者サービスに関する講座・研修

- **障害者サービス担当職員向け講座**
  - 日本図書館協会との共催で、図書館職員等を対象に、図書館における障害者サービスの基礎的な知識および技術の習得を目的とする講座
  - 毎年第３四半期頃に実施
- **講師派遣型研修**
  - 「障害者サービスに使える国立国会図書館のサービス」

④各種ガイドラインの策定

- **電子図書館のアクセシビリティ対応ガイドライン2.0**
  - 電子図書館（商用の電子書籍を図書館を通じて利用するサービス）を視覚障害者等が利用するために必要なアクセシビリティに係る要件を整理したガイドライン（令和7年5月策定）
  - 活用例①：「いま導入している民間の電子図書館サービスは十分にアクセシブルか？」の確認に
  - 活用例②：「これから調達予定の電子図書館サービスのアクセシビリティ仕様は十分か？」の検討に

ガイドライン：https://www.ndl.go.jp/support/guideline
YouTubeでの紹介動画：https://youtu.be/b-QWtTpfORU

まとめ

1. すでにあるアクセシブルな資料を活用して、
   - みなサーチ・サピエ図書館・電子図書館サービス…を通じて
     データや全国機関が所蔵する実物を活用
2. 必要な資料がなければ新しく製作して、
   - 国立国会図書館に依頼、自館でデータを製作…
3. 必要な知識を学んで、
   - 講座・研修に参加、ガイドラインの活用…

⇒自館での読書バリアフリー施策の充実につなげましょう！

みなサーチをぜひご活用ください！

https://mina.ndl.go.jp/

＝お問合せ＝

国立国会図書館関西館
図書館協力課障害者図書館協力係
電話：0774-98-1458　FAX：0774-94-9117
メールアドレス：syo-tky@ndl.go.jp